



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション
コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坪井 鈴児
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,644	△5.4	299	△35.5	296	△40.3	113	△63.4
24年3月期第2四半期	10,191	△1.6	464	204.9	496	368.6	310	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △71百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.22	—
24年3月期第2四半期	11.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	38,199	11,862	31.1	439.70
24年3月期	38,906	12,014	30.9	445.36

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,862百万円 24年3月期 12,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,640	△4.9	640	△21.4	570	△31.7	350	△34.0	12.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) (株)リンコーホールディングス
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結累計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	27,000,000 株	24年3月期	27,000,000 株
25年3月期2Q	22,347 株	24年3月期	21,842 株
25年3月期2Q	26,977,869 株	24年3月期2Q	26,979,117 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年4月1日から9月30日までの6ヶ月間(以下、当第2四半期連結累計期間)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金制度などによる景気の下支え効果はあったものの、世界経済の減速や円高の進行による輸出や生産の低迷、個人消費の伸び悩みなど、先行きの不透明感は高まっているものと認識しております。

このような事業環境にあつて当社企業グループは、顧客満足を最優先に積極的な営業活動と業務の効率化に努めて参りましたが、主力である運輸部門において、新潟港における東日本大震災による被災港代替機能の収束により取扱貨物が減少し、前年同四半期比で減収減益となりました。一方、機械販売部門、ホテル事業部門及びその他においては好調に推移し、前年同四半期比で増収となりましたが、全体では減収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9億4千4百万円(前年同四半期比5.4%の減収)、営業利益は2億9千9百万円(前年同四半期比35.5%の減益)、経常利益は2億9千6百万円(前年同四半期比40.3%の減益)となり、四半期純利益は1億1千3百万円(前年同四半期比63.4%の減益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[運輸部門]

既存荷主へのケアと新規荷主開拓に注力した営業活動を展開し、取扱貨物の拡大に努めて参りましたが、港湾運送事業における船内取扱数量は、新潟港が被災港代替機能の役割を終えたことや大口顧客の生産調整等により一般貨物、コンテナ貨物共に前年同四半期より減少し、294万2千トン(前年同四半期比17.5%の減少)となりました。

当社と運輸系子会社3社(新光港運株式会社、リンコー運輸株式会社、丸肥運送倉庫株式会社)を合わせた同部門の収入は52億2千8百万円(前年同四半期比14.7%の減収)、セグメント利益は8千8百万円(前年同四半期比76.3%の減益)となりました。

[不動産部門]

地代・家賃収入を合わせた同部門の収入は1億8千2百万円(前年同四半期比9.7%の減収)、セグメント利益は1億6百万円(前年同四半期比5.1%の増益)となりました。

[機械販売部門]

前年度からの積極的な営業活動により、大型の建設・産業機械の販売件数が増加し、同部門の収入は7億3千9百万円(前年同四半期比24.2%の増収)、セグメント損失は2千7百万円(前年同四半期は5千4百万円のセグメント損失)となりました。

[ホテル事業部門]

株式会社ホテル新潟では、東日本大震災発生後の法人・個人の自粛ムードにより落ち込んでいた売上が、震災発生以前の水準にまで回復いたしました。株式会社ホテル大佐渡においても宿泊客数は震災以前の水準に回復しており、更に宿泊客の受注区分割合の見直しにより宿泊単価も前年同四半期比で上昇しております。

これらの結果、同部門の収入は16億8百万円(前年同四半期比11.9%の増収)、セグメント利益は8千2百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント利益)となりました。

[商品販売部門]

貿易収入は、住宅着工戸数の低迷による住宅資材の取扱減少や、衣料品及び食品の輸入落ち込みにより低調となったものの、商品販売収入において、大型の業務用機械設備納入案件やセメントの販売が好調であった結果、同部門の収入は18億9百万円(前年同四半期比1.4%の増収)、セグメント利益は3千万円(前年同四半期比2.3%の増益)となりました。

[その他]

産業廃棄物の処理業務における廃材受入数量の大幅な増加により、保険代理店業務等を合わせたその他の収入は1億5千万円(前年同四半期比23.2%の増収)、セグメント利益は1千7百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント利益)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しており、前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

詳細は、9ページ「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」をご覧ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の資産の部は前連結会計年度末と比べて7億7百万円減少し、381億9千9百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価下落によるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて5億5千4百万円減少し、263億3千7百万円となりました。これは主に未払法人税等の支払い、長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べて、1億5千2百万円減少し、118億6千2百万円となりました。これは主に四半期純利益、配当金の支払い、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの売上高、営業利益、経常利益は、当初予想と大きな差がないこと、また現時点における下期の事業環境や業績の見通しを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益の当初予想を据え置くことといたしました。

当期純利益につきましても、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益の実績と当初予想との差異の要因が、時価下落による投資有価証券の減損処理によるものであり、今後の株価の動向によって大きく変動する可能性があることから、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました予想を据え置くことといたしました。

個別の通期業績予想につきましても、連結同様に、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、業績予想の修正が必要と判断される場合は、速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年4月1日付で当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併を行ったため、同社については、連結の範囲から除いております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	589,071	566,369
受取手形及び営業未収入金	4,126,430	4,162,322
たな卸資産	250,881	260,026
繰延税金資産	136,671	147,196
その他	161,399	204,413
貸倒引当金	△5,102	△14,599
流動資産合計	5,259,352	5,325,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,315,988	22,275,823
減価償却累計額	△14,685,051	△14,857,358
建物及び構築物(純額)	7,630,936	7,418,464
機械装置及び運搬具	2,292,477	2,282,384
減価償却累計額	△2,001,231	△1,996,662
機械装置及び運搬具(純額)	291,245	285,722
土地	22,005,293	22,012,449
リース資産	686,286	708,217
減価償却累計額	△210,210	△259,305
リース資産(純額)	476,076	448,911
その他	1,192,423	1,213,328
減価償却累計額	△1,035,024	△1,054,733
その他(純額)	157,398	158,595
有形固定資産合計	30,560,951	30,324,144
無形固定資産		
リース資産	22,132	21,148
その他	433	322
無形固定資産合計	22,566	21,471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,016,260	1,631,552
繰延税金資産	54,848	52,586
その他	1,640,187	1,456,738
貸倒引当金	△649,980	△614,730
投資その他の資産合計	3,061,316	2,526,148
固定資産合計	33,644,834	32,871,763
繰延資産		
社債発行費	2,306	1,677
繰延資産合計	2,306	1,677
資産合計	38,906,492	38,199,169

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,089,936	2,436,794
短期借入金	6,800,000	6,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,650,602	2,561,598
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	111,319	115,013
未払法人税等	348,260	67,282
賞与引当金	89,148	89,927
その他	1,052,721	931,918
流動負債合計	13,241,989	13,102,535
固定負債		
社債	100,000	50,000
長期借入金	5,058,544	4,808,087
リース債務	402,731	369,813
繰延税金負債	1,406,897	1,314,656
再評価に係る繰延税金負債	5,805,018	5,806,436
退職給付引当金	477,411	517,946
役員退職慰労引当金	125,644	95,681
環境対策引当金	20,810	20,810
資産除去債務	103,117	104,204
その他	149,345	146,847
固定負債合計	13,649,521	13,234,483
負債合計	26,891,511	26,337,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	641,306	669,190
自己株式	△6,691	△6,757
株主資本合計	3,394,074	3,421,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,916	△109,268
土地再評価差額金	8,545,990	8,549,526
その他の包括利益累計額合計	8,620,906	8,440,258
純資産合計	12,014,980	11,862,150
負債純資産合計	38,906,492	38,199,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
運輸作業収入	5,438,466	4,614,881
港湾営業収入	114,153	106,354
不動産売上高	187,055	169,856
機械営業収入	534,013	682,267
ホテル営業収入	1,432,321	1,603,756
商品売上高	1,757,876	1,781,296
その他の事業収入	727,812	685,633
売上高合計	10,191,700	9,644,045
売上原価		
運輸作業費	4,811,974	4,227,755
港湾営業費	96,057	93,467
不動産売上原価	84,487	64,722
機械営業費	526,956	647,362
ホテル営業費	1,238,569	1,333,953
商品売上原価	1,706,105	1,727,588
その他の事業費用	488,677	451,538
売上原価合計	8,952,827	8,546,388
売上総利益	1,238,872	1,097,656
販売費及び一般管理費	774,172	797,719
営業利益	464,700	299,937
営業外収益		
受取利息	4,277	3,748
受取配当金	29,007	21,069
貸倒引当金戻入額	89,254	22,843
雑収入	30,063	43,690
営業外収益合計	152,604	91,351
営業外費用		
支払利息	94,400	87,917
雑支出	26,030	6,697
営業外費用合計	120,430	94,615
経常利益	496,873	296,673

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	980	2,919
資産除去債務履行差額	6,164	—
特別利益合計	7,145	2,919
特別損失		
固定資産処分損	5,360	26,962
投資有価証券評価損	8,541	162,197
特別損失合計	13,901	189,160
税金等調整前四半期純利益	490,117	110,432
法人税、住民税及び事業税	253,465	59,204
法人税等調整額	△73,782	△62,544
法人税等合計	179,683	△3,340
少数株主損益調整前四半期純利益	310,434	113,772
四半期純利益	310,434	113,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	310,434	113,772
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△176,826	△184,185
土地再評価差額金	—	△1,417
その他の包括利益合計	△176,826	△185,602
四半期包括利益	133,608	△71,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,608	△71,830

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,122,708	187,055	569,305	1,432,321	1,757,876	10,069,267	122,432	10,191,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,319	14,634	26,143	5,543	27,489	78,129	48	78,178
計	6,127,027	201,689	595,448	1,437,865	1,785,365	10,147,396	122,481	10,269,878
セグメント利益又は 損失(△)	375,828	101,679	△54,451	5,580	29,367	458,004	1,104	459,108

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	458,004
「その他」の区分の利益	1,104
セグメント間取取消去	1,260
その他の調整額	4,331
四半期連結損益計算書の営業利益	464,700

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,223,591	169,856	714,698	1,603,756	1,781,296	9,493,199	150,846	9,644,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,505	12,332	24,577	5,110	28,510	75,034	52	75,087
計	5,228,096	182,188	739,275	1,608,866	1,809,806	9,568,233	150,899	9,719,133
セグメント利益又は 損失(△)	88,898	106,815	△27,319	82,699	30,050	281,144	17,771	298,916

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、グループ経営の効率化、将来の事業環境の変化に迅速に対応できる体制を構築することを目的として、当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併、当社と株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡において、当社が営む不動産賃貸事業の一部を他の2社が承継し、両社がそれぞれ営む不動産賃貸に係る事業の一部を当社が承継する吸収分割を実施しております。

この結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「運輸部門」で1,041,264千円増加、「不動産部門」で4,028,137千円減少、「ホテル事業部門」で189,134千円増加、「全社資産」で731,050千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	281,144
「その他」の区分の利益	17,771
セグメント間取引消去	504
その他の調整額	516
四半期連結損益計算書の営業利益	299,937

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、グループ経営の効率化、将来の事業環境の変化に迅速に対応できる体制を構築することを目的として、当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併、当社と株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡において、当社が営む不動産賃貸事業の一部を他の2社が承継し、両社がそれぞれ営む不動産賃貸に係る事業の一部を当社が承継する吸収分割を実施しております。

このグループ再編により、従来、「不動産部門」に含まれていた、当社が営んでいた不動産の所有、売買、貸借、仲介及び管理事業のセグメント間取引と「ホテル事業部門」に含まれていた株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡の営んでいた土地の賃貸事業のセグメント間の取引が、それぞれ減少しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、グループ再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

各報告セグメントのうち、当社の販売費及び一般管理費の配賦につきましては、従来、各報告セグメントの固定費の割合に応じて配賦する方法によっておりましたが、経営管理上、各報告セグメントの事業効率を、より公正かつ適正に把握するため、第1四半期連結会計期間より各報告セグメントに属する人員に応じて配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。